

門別競馬場きゅう舎建設工事
(きゅう舎棟5棟、統括管理ほか)

特 記 仕 様 書

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

1. 総則

1-1. 工事の名称

門別競馬場きゅう舎建設工事（きゅう舎棟 5 棟、統括管理ほか）

1-2. 発注者

一般社団法人北海道軽種馬振興公社

〒055-0008 沙流郡日高町富川駒丘 76-1（門別競馬場内）

TEL 01456-2-2501

FAX 01456-2-2503

理事長 大鷹千秋

1-3. 工事の場所

北海道沙流郡日高町富川駒丘 76-5 ほか

1-4. 工事の目的

当該箇所において、きゅう舎新築に伴うきゅう舎等 5 棟、ロンジング場ほかの工事を実施する。

1-5. 概要

本工事は、きゅう舎建設工事として全体を 8 工区に分けて整備するうちの 1 工区分の工事である。きゅう舎建設工事のほか、統括管理業務を含む。

本工事の工区内において、同一敷地内において別途工事が複数施工される計画である。きゅう舎建設工事の工事施工者（全 5 工区）のほか、きゅう舎建設用地整備工事（全 5 工区）の工事施工者とも相互に協力し円滑に工事を進捗させることを目的とした工事調整を含む統括管理業務を担うこと。

また、本工事では以下の工事を実施する。

きゅう舎区画内工事

- ・きゅう舎 5 棟
- ・事務所・倉庫 5 棟
- ・ウォーキングマシン 5 棟
- ・サンシャインパドック 10 か所

ほか

きゅう舎区画外工事

- ・公衆トイレ 1 棟
- ・馬乗降場所 2 か所
- ・馬体重計量上屋 1 棟
- ・ロンジング場 3 棟
- ・ゴミ庫 2 か所

ほか

1-6. 工期

令和 7 年 10 月 31 日まで とする。

2. 適用

2-1. 適用基準（すべて最新版に準拠すること）

「公共建築工事標準仕様書（各工事編）」
「公共建築設備工事標準図（各工事編）」
「北海道建設部土木工事共通仕様書」
「写真管理基準」

さらに、上記共通仕様書及び後述の特記仕様書に記載の無い場合は、関連する要綱、指針、基準等に準拠し、その適用にあたって工事監督員と充分協議し承諾を得て進めること。

3. 特記仕様書

3-1. 共通事項

本工事に使用する木材は道産材とし、地域材である日高管内産材を優先し、合法木材供給事業者からの供給とすること。木材以外の本工事に使用する製品及び材料は、図面において、設計上の規格・グレード等を標準仕様として示している。

今回整備する建築物は、図面に従い地盤補強杭としてH型PCパイルを施工すること。杭の施工に先立って、施工計画書を作成すること。その中で、施工時の打撃力等により杭が損傷を受けないように構造耐力上安全性確保の措置を講ずること。

建設地の気候等を鑑み、風雪時や寒冷期の凍結や機能障害などを考慮すること。

3-2. きゅう舎区画内工事

きゅう舎区画内には、きゅう舎、事務所・倉庫、ウォーキングマシン、サンシャインパドック、その他付帯施設ほかを整備すること。（詳細は設計図による）

（1） きゅう舎

木造平屋建てとし、24馬房、馬洗い場6か所、飼料庫、資材庫を設置すること。馬房は3m×3.6m、馬洗い場は2.5m×2.8m（有効w＝2.2m確保）とし、出入口は3か所、中央通路を設け通路の両側に馬房を設置すること。馬洗い場には側溝、集水桝を設置すること。

（2） 事務所・倉庫

事務所・倉庫は、木造2階建てとすること。屋外階段は鉄骨階段とし、鉄骨階段下には杓洗いを設けること。

1階には休憩室と飼料倉庫を設け、休憩室には男子トイレとして小便器を、女子トイレとして大便器を、ほかブラインドボックス、横型ブラインド、ミニキッチン、FFを設置すること。休憩室の天井・壁にはグラスウールを敷き詰めること。飼料倉庫の出切口には有効w＝3.3mのカーテンレールネットを、壁面には木ズリを設けること。

2階には事務室と倉庫を設け、事務室には男女兼用で大便器を設置すること。事務室には兼用トイレとして大便器を、ほか下足棚、ブラインドボックス、横型ブラインド、ミニキッチン、FFを設置すること。事務室の天井・壁にはグラスウールを敷き詰めること。倉庫には、有効w＝1.6mの大型引戸を設置すること。

（3） ウォーキングマシン

ウォーキングマシンは鉄骨造平屋建てとすること。仕様については発注者によりプロポーザルを実施した結果、頭数（枠数）8頭、直径18m、走路幅（馬道幅）1.9mほか、図面に記載の仕様に決定しました。

また、ウォーキングマシンは建築確認の申請対象建築物です。図面から変更する場合は、建築確認申請の変更手続きが必要です。その変更に必要な諸手続きは施工者負担とする。さ

らに、竣工後のメンテナンスに関しては、メーカー保証（10年保証）として、年間1回無償点検（点検・調整・給油含む）、Vベルトの10年以内に1回無償交換を見込むこと。また、10年保証後のメンテナンスについては、使用者とメーカーとで別途契約を予定している。

調達前に、施工図・カラーサンプルを提出し仕様・色見・保証内容等を監督員の承諾を得ること。なお、承諾期間として3週間程度見込むこと。

（4） サンシャインパドック

サンシャインパドックは15.0m x 11.0mの平面寸法で2か所設置すること。その外周部にはH1.5mの木柵を設置し、出切口にはW=3.6の馬栓棒を設置すること。

（5） その他付帯施設ほか

区画外周部に木柵や目隠し塀、堆肥置き場、飼料タンクスペース、オイルタンク、U字溝、雨水桝、アスファルト舗装等を設置すること。

3-3. きゅう舎区画外工事

きゅう舎区画外には、公衆トイレ、馬乗降場所、ロンジング場（ロンギ場）、馬体重計量上屋、ゴミ庫その他付帯施設ほかを整備すること。

電気設備工事、機械設備工事については、きゅう舎建設用地整備工事（電気インフラ）、きゅう舎建設用地整備工事（通信インフラ）、きゅう舎建設用地整備工事（給排水等）の各工事との工事区分については、設計図を参照し施工すること。

（1） 公衆トイレ

給水ポンプユニット、周辺配管工事以外の給排水配管および衛生器具、暖房・換気設備工事を行うこと（詳細は設計図による）。

（2） 馬乗降場所

木柵付きの馬乗降場所を整備すること（詳細は設計図による）。

（3） ロンジング場（ロンギ場）

直径16.0m半屋根有タイプ、直径16.0m屋根なしタイプを整備すること（詳細は設計図による）。

（4） 馬体重計量上屋（馬体重計含む）

馬体重計を設置する上屋を整備すること。上屋を整備するにあたり地盤改良を行うこと。

（5） ゴミ庫

w1800 x d700 x h1200 程度のゴミ庫を整備すること。

（6） その他付帯施設ほか

その他付帯施設として、木柵、きゅう舎配置案内サイン等のサイン工事を図面を参照し整備すること。

3-4. 統括管理業務

本工事の施工者は、工区全体の統括管理業務を担うこと。業務内容は「関係者間の業務・責任区分及び役割分担表」による。

今後発注される建設工事7工区の工事施工者間の各種調整を主導すること。工区全体（土木工事も含む）の工事工程の調整、全体敷地への搬入車両等の入退場の調整及び管理、工事定例会議を主宰すること。また、建築工事各工区共通の施工図を作成し工事監理者の確認を受けること。工事監理者の確認を受けた施工図をきゅう舎建設工事の他7工区施工者へ共有すること。

3-5. その他

(1) 現場事務所・資材置場・駐車場等

工事施工にあたり門別競馬場敷地内には、現場事務所・資材置場・駐車場等を設置するスペースがないため、競馬場周辺かつ競馬開催に影響のない場所にスペースを確保すること。
なお、工事総合定例の開催場所は公社が準備するものとする。

(2) 工事期間中の安全対策

工区の安全管理を行うこと。また、競馬開催日には総合的な安全対策を行うこと。

(3) 工程計画に関する注意事項

工事施工にあたっては、競馬開催の有無にかかわらず1年を通して、競走馬への配慮が必要です。特に音を伴う工事については、事前に監督員と十分な協議を行い競馬や工事に影響がないように調整すること。

(4) 設計変更への対応

設計変更が生じた場合はその都度協議すると共に、本仕様書は設計変更が生じた場合にはその都度、増廃、または追補するものとする。

計画位置図

A1 S=1/10000
A3 S=1/20000



